

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2018年 12月 11日

事業所名：すまいる・きつず

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	プログラムや課題など、用途に応じて部屋を使い分けたり、ホワイトボードなどの位置を変更したりして、出来る限り活動しやすくなるよう工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 58%</li> <li>・ どちらともいえない 23%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 19%</li> </ul>	半数の方が「どちらともいえない」「わからない」を選択されているので、施設内をもっと見学する機会を設けさせていただく。
	2 職員の適切な配置	当日の取り込み内容、子どもの人数に合わせて人員配置表を作成し、適切な配置を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 77%</li> <li>・ どちらともいえない 10%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 13%</li> </ul>	概ね満足していただいている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	当日の取り組みや過ごす場所など、視覚支援を用いて対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 61%</li> <li>・ どちらともいえない 26%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 13%</li> </ul>	半数以上の方に満足していただいているが、施設内での取り組みの周知不足はある。すまいる・だよりなどで取り組みについて、ますます周知していただく機会を設ける。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃の充実で清潔さの確保を行っている。活動内容に合わせた部屋の構造化を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 77%</li> <li>・ どちらともいえない 10%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 13%</li> </ul>	概ね満足していただいている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の終礼の中で現場での振り返りを行っている。また、終礼ノートに内容を記入し、翌日の出勤時に前日の終礼内容の確認を行っている。	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の発達障がい研究会を行い、情報の共有を図っている。外部講演会や学会への参加も多数している。	/	
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	月1回担当者会議を行い、そこでアセスメントで得た内容を話し合い、分析を行った上で支援計画の作成を行っている。	/	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの支援内容によって、個別活動、集団活動を組み合わせて計画を作成している。	/	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	課題の実践方法の個別作成を用いて毎日必ず実践している。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実践のための会議を開き、具体的な方法をPDCAサイクルにより実践している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 97%</li> <li>・ どちらともいえない 3%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 0%</li> </ul>	満足していただいている。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムにメインとサブを設け、月例会議にて定期的な見直しと行事活動の考案をしている。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	子どもの来所時間に合わせて支援内容を変更している。		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	終礼時や報告書でプログラム内容の振り返りを行い、次回に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 71%</li> <li>・ どちらともいえない 16%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 13%</li> </ul>	曜日ごとのプログラムを目当てに参加していただけているので、引き続きよりよいプログラムを作っていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼時に日案や人員配置表の確認を行い、当日の職員の動きを明確にしている。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終礼時にヒヤリハット報告やその日の反省、児童に関するカンファレンスを行っている。		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	気づきノート、学習記録、プログラム報告書等、正確な記録を実施している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ヒアリングから行い、毎月実施している。		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	管理者、児発菅等にて参加している。		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	お互いの希望により、支援会議を行っている。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	行っている。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修がある時は、児発菅や管理者が欠かさず受講している。 その知識で職員に学習会を行い、保護者様へもお伝えできるようにしている。		
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公園、図書館、公民館の行事に参加している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 16%</li> <li>・ どちらともいえない 6%</li> <li>・ いいえ 32%</li> <li>・ わからない 45%</li> </ul>	今後も地域の行事に積極的に参加していく。 また、保護者様からは地域の学校に通っているため充分ではないかとの意見もある。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	在籍児童で満室となっており、それ以上の参加は家族の招待が限度の状態である。			
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 87%</li> <li>・ どちらともいえない 6%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 6%</li> </ul>	満足していただいている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 90%</li> <li>・ どちらともいえない 3%</li> <li>・ いいえ 3%</li> <li>・ わからない 3%</li> </ul>	満足していただいている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	親の会(年3回程度)、講習会を開き、新しい情報や育児の工夫を伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 68%</li> <li>・ どちらともいえない 19%</li> <li>・ いいえ 3%</li> <li>・ わからない 10%</li> </ul>	概ね満足していただいている。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に保護者様と話し合い、子どもに関する情報共有を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 90%</li> <li>・ どちらともいえない 10%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 0%</li> </ul>	満足していただいている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	療育相談や電話での相談など、その都度実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 71%</li> <li>・ どちらともいえない 23%</li> <li>・ いいえ 3%</li> <li>・ わからない 3%</li> </ul>	心理士や専門家、児童指導員へのご相談は常にお伺いしているため、今後も周知していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	さくらさくの会を実施し、デイキャンプや食事会で交流の機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 74%</li> <li>・ どちらともいえない 3%</li> <li>・ いいえ 6%</li> <li>・ わからない 16%</li> </ul>	概ね満足していただいている。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	出来る限り迅速に、当日中の対応を心がけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 65%</li> <li>・ どちらともいえない 6%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 29%</li> </ul>	送迎時の学校間での遅延等の苦情に対し、まだまだ工夫が必要と考えられる。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	ことばのないお子さまには、PECS等視覚支援を中心に、意思疎通できるよう尽くしている。保護者様には電話やLINEの活用で情報伝達がしやすいよう工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい 71%</li> <li>・ どちらともいえない 13%</li> <li>・ いいえ 0%</li> <li>・ わからない 16%</li> </ul>	概ね満足していただいている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	すまいるだよりや、行事報告、ブログにて実施。 ・ はい 90% ・ どちらともいえない 3% ・ いいえ 0% ・ わからない 6%	満足していただいている。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関する書類や、事業所外での発言内容など全職員に細かく注意を促している。 ・ はい 94% ・ どちらともいえない 3% ・ いいえ 0% ・ わからない 3%	満足していただいている。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	対応マニュアルは作成しているが、保護者への周知がまだ徹底できていない。 ・ はい 32% ・ どちらともいえない 19% ・ いいえ 16% ・ わからない 32%	作成してるマニュアル等を保護者様向けに作り直し、配布、説明を行う。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回春と夏に避難訓練を実施している。 ・ はい 52% ・ どちらともいえない 10% ・ いいえ 3% ・ わからない 35%	半数の方が「どちらともいえない」「わからない」を選択されているので、実施内容の周知を徹底する。	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会を設置し、月例会議にて報告や次月のスローガンを決定している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束についての規定は欠かさず記載しているが、現在のところ実際の例はない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	毎回のおやつやイベント時の食事などでは、一人一人のアレルギーを確認している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	本日の連絡事項や、終礼ノートなどを通して、事業所内での共有を図っている。		